

予 算 要 求 資 料

令和 6 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 【新】 RIE KANETO MemorialCup 推進費（枠外）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 電話番号：058-297-7003
アスリート発掘・育成係

E-mail : c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,000 千円 (前年度予算額 : 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 6,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,000 |
| 決定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

ぎふ清流国体開催時より本県所属選手として水泳・スポーツの振興に貢献された、リオデジャネイロオリンピック金メダリストの金藤理絵氏の栄誉を末永く讃え、水泳競技（特に競泳）のジュニア世代に対する競技普及をはじめ、育成・強化に繋げられる取り組みの創出。

(2) 事業内容

リオデジャネイロオリンピックでの金メダル獲得以降、金藤氏の活躍をたたえるための大会を企画してきたが、新型コロナウイルスなどの影響により中断していた。

国内におけるコロナ対応の緩和の中、スポーツ機運が高まり、栃木国体でのV字回復を果たした。さらに高みを目指す機運を受け、競泳における当県アスリートに「岐阜から全国へ」さらに「岐阜から世界へ」という願いを込め、県水連と協議した結果、県水連が主催、岐阜県が共催として参画することで令和5年度第一回大会が実現した。

既存の県社会人選手権大会とJOCジュニアオリンピックカップ夏季大会を懸ける大会を金藤氏の冠大会として統合し、競技運営は県水連、岐阜県は開会式や大会の盛り上げなどを担当した。令和6年度はジュニア世代をターゲットにした大会に特化する。

令和5年度に開催した内容から更に拡充することで盛り上げを図るとともに競技力向上に向けた大会とする。（主な拡充内容：オープニング映像作成、熱中症対策、参加者への記念品 等）。

(3) 県負担・補助率の考え方

ジュニア世代の育成強化は、県の競技力向上に直結するため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|-----------------------|
| 委託費 | 6,000 | オープニング映像作成、熱中症対策、記念品等 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 6,000 | |

決定額の考え方

他のスポーツ予算（アスリート支援等）の中で対応している部分があることなどにかんがみ、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふスポーツ推進計画」において、次世代アスリートの発掘・育成・強化は主な施策としている。

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

継続実施することにより効果が上がるものであり、同事業を継続する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

(一社) 岐阜県水泳連盟との共催であり、県が実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

RIE KANETO Memorial Cup を岐阜県水泳連盟のジュニア世代に対する競泳の普及・育成・強化の中心となる大会にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R26) | R4年度 | R5年度 実績 | R6年度 目標 | 終期目標 (R7) | 達成率 |
|-------------|----------------|------|------------|------------|--------------|-------|
| | | | | | | |
| ①参加ジュニア選手人数 | 0 | | 526 | 600 | 700 | 75.1% |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--------------------------------|
| 令和2年度 | 指標① 目標：300人 実績：620人 達成率：206 % |
| 令和3年度 | 指標① 目標：300人 実績：620人 達成率：206 % |
| 令和4年度 | 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない | |
| (評価) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | アンケート結果からも多くの参加選手から高評価をいただいている |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている | |
| (評価) | 令和5年度から新設 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ジュニア世代にとって魅力的な大会であり、なおかつ持続可能な運営方法を県水連と協議していく必要がある。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 参加者アンケートの結果を踏まえ、県水連や金藤氏との協議を踏まえて計画する。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | |